

第 150 号

2018 年 10 月 26 日

議 平生町
議会だより

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 福田 洋明

編集 議会広報広聴調査特別委員会

印刷 中村印刷株式会社



ワーイ！一等だ（10月7日平生幼稚園）

9 月
議会報告

定例会	2ページ
決算特別委員会	3ページ
いっぱん質問	4ページ
議会研修報告	8ページ



平成30年7月豪雨(西日本豪雨) 町内の被害総額 1億4,674万円!

平成30年第3回平生町議会定例会が、9月12日から26日までの15日間の日程で行われ、議案として、補正予算5件、条例3件、同意2件、諮問2件、認定7件、報告12件が上程されました。各議案は全会一致で可決されました。一般質問は4人の議員が町政の諸課題について質問しました。なお、決算認定7件については決算特別委員会を設置し、議長・監査委員を除く9名にて審査しました。最終日には、山田町長から最後の定例会ということで退任のあいさつがありました。

補正予算

2億7,362万円増額
予算総額
50億7,047万円

歳入

▽町債

農林水産施設

災害復旧債

4,490万円

公共土木施設

災害復旧債

2,600万円

歳出

▽財産管理費

積立金5,742万円

▽漁港建設事業費

1,440万円

▽中学校費

プールろ過機更新

1,030万円

常任委員会

審査報告

総務厚生常任委員会

付託案件を9月20日、慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決しました。主だった審査経過は次のとおりです。

歳入

災害対策として当面の予算組みで使っているが、繰越金の取り扱いの方向性、今後の見込みは、

災害査定を受けており、その状況をみて、国や県の補助がくれば、

一般財源分を相殺し、12月または3月に積み増すという形になってくる。

歳出

町有地に危険なブロック塀は何箇所くらいあるのか。

緊急を要するものとして、百済部にある旧植物防疫所付近のブロック塀の撤去とフェンス設置、舗装を計上している。

児童クラブ利用者の増加により、支援員を増員しているが、場所も含めた状況は。

今年度、夏休み期は合計127人だった。昨年度より10人増えている。今の施設ではいっぱ

い。今後については方法をさぐっている状態。

産業文教常任委員会

付託案件を9月21日、慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決しました。主だった審査経過は次のとおりです。

歳出

県の事業で秋森道路公園のトイレを撤去するにしても費用がかかると思う。見直しはどうか。

汚泥の引抜、洗浄等を行い、県土木に返す。

平生町漁業集落環境整備事業特別会計

設備改修の現状は。

OD槽に設置している水中プロペラが故障し、未使用の水中プロペラを移設して対応。現在稼働中のものが故障した場合汚水処理が不可能となるため、緊急に対応。電気設備改修は点検の結果、照明器具の経年劣化による漏電が判明し、照明器具24箇所、漏電遮断器4箇所を計上した。



決算特別委員会

監査委員の
決算審査意見

質 起業支援事業は具体的にどのような支援か。件数は。

答 3件。いろいろな

お店などを掲載した情報誌の企画・編集・制作は新規。伝統航海船建造は、航海技術の継承や観光プロジェクト等の資金を集めるためのパンフ作成等に使われている。農業経営は、耕作放棄地を開墾して合同会社をつくり、今年で3年目、学校給食に提供できるまでになり、実績を積んでいる。

質 農業振興費の不用額が100万円程度出ている。柑橘園地緊急有害獣防除柵設置事業が当初に比べると減っていることが主なものか。

答 柑橘研究会に対しての緊急対策として3カ年事業で取り組む予定とし、初年度は100万円

計上した。会員に周知した結果、約半数からの申請で圃場面積の約半数カバーした。今後について照会したところ、概ね会員の意向は網羅したと回答があつたため、緊急対策としては終了することとなった。

賛成討論

①決算の歳出では需要費等を含め、歳出の削減に対して相当に取り組んだ姿勢がうかがえる。この成果が財政基金から当初予算組みに7,200万円を繰り入れたものだろうと判断をする。29年度はその意味からいえば、財政基金に依存する予算組みからの脱却へのまず第一歩、下地づくりをされたものとして評価する。しかし、一方でPDCAサイクルに基づく事業量、事業費の全庁的なチェックを通して、循環を生

む資金として行政サービスの向上にあたっていただきたいことを申し添えておく。事業執行上やむを得ないものとはいえ、不用額は最小限にする努力を払っていただきたいことを所管課ごと、また、全庁組織に望む。

②歳入増、歳出減に対し、相当の取り組みがされたものと判断し、評価する。特に、ふるさと納税が大幅に伸び、約2,400万円の自主財源の確保がされている。



柑橘園のイノシシ防除柵

平成29年度の決算は、単年度収支、実質単年度収支ともに前年を大幅に上回り、黒字体質に転換することができている。歳入面では、個人・法人町民税とも、税収増、徴収率向上が見られること、ふるさと納税額が大幅に伸びたこと、太陽光発電設備による償却資産税の増加が近年続いていること等が収支の改善に少なからず寄与した。また、国からの地方交付税が伸びたこと、ため池緊急防災事業の県支出金等が歳入増加に大きく貢献している。歳出面では、歳入財源の掘り起こしや、歳出削減に細心の注意と努力を払って取り組まれていることを高く評価したい。



洲上 正博 議員

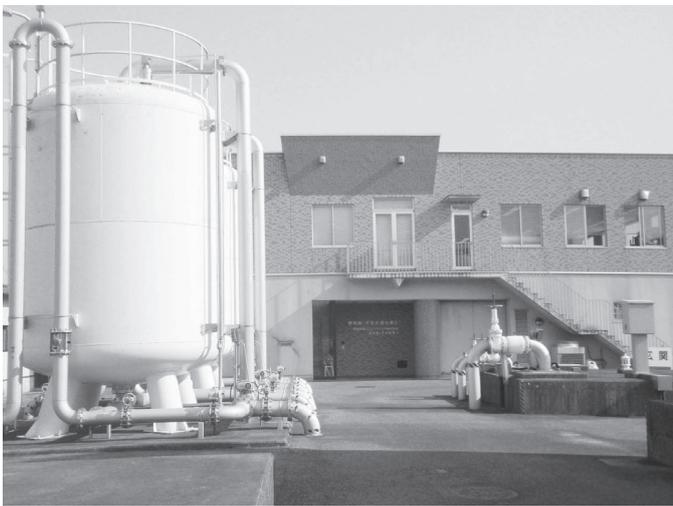
いっばん質問



が聞きたい

質 水道民営化について問う

答 慎重な研究・検討が必要である



町内に水を供給している田布施平生水道企業団

質

水道事業の広域化と民間参入の促進を図る水道法改定案が、通常国会で継続審議になっている。
水道事業はライフラインの最たるものであって、住民の生存権にかかわる高い公共性を持つている。
水道事業は民営化すべきではないと思うが、当町の考え方を問う。

答

町長

水の需要が減少、水道施設の老朽化、人材をどう確保して行くのか課題が現実であり水道事業基盤強化のもと、いま法律改正案が審議されている。
施設の所有権は公共団体が所有、施設の運営権は民間事業者に設定して、水道事業の管理運営を可能にする案だ。水は命にかかわる重要なインフラなので十分な研究・検討が必要である。

質 図書館の町長部局への移行について

答 現状では教育委員会の所管と考えている

質

文部科学省は、公民館や図書館などの「公立社会教育施設」の所管について、自治体の判断で教育委員会から町長部局に移すことができる特例を検討している。

図書館は自治体の長から半ば独立した教育委員会の下にある機関であり、町長部局に移すべきではない。当町の考え方を問う。

答

町長

本町では具体的に公立図書館のあり方について現在議論がされているわけではないが基本的には教育委員会の所管と考えている。

答 教育長

今後、あり方や運用などを検討をして行く中で平生町の現状に合ったよりよい施設となるよう努めたい。



みんなが利用している公立図書館



中本 敦子 議員

質 在籍20年間の平生町総合計画の進捗状況は

答 基本政策を割り振って取り組みを進めている

質

- 1. 皆の笑顔が輝く町
 - 2. 快適で住みよい町
 - 3. 健やかで安心して暮らせる町
 - 4. 活気に満ちた明るい町
 - 5. 一人ひとりが主役の町
- これら5項目の実績と評価を問う。
- 1期4年間質問し不透明な点の再確認である。
1. 藤原病院への無償貸付け
2. 空家対策
3. 農業振興
4. コミュニティ活動
5. 担い手(農漁商工)
6. 観光対策はどうか

答

町長

5つの基本目標の52の施策については実現を目指して取り組みを進めている。商工業、農林水産は共通して担い手問題は町にとって大きな課題。有害獣対策は引き続き進めていく。観光協会主催大星山のサイクルフェスタ等、町として支援をする。

答

町民福祉課長

藤原病院は今も利用者があるので、引き続き事業展開をしていきたい。



児童発達支援センターゆう

質 災害時(人命第一、安全第一、生活第一)の対応を問う

答 危機管理の重要性を認識している

質

- 現状では避難放送をまたず安全に落ち着いた行動をするため早目に、親せきや知人宅に避難の家族もいる。移動中の事故防止は遠くの避難場所より近くの避難場所を考えるべき。
1. 全戸配布されたハザードマップの活用と住民への理解や納得はされているか。
2. 指定の避難場所の環境は整っているのか。
3. 高齢者(弱者)への配慮は整っているか。

答

町長

防災の話をハザードマップを活用しながらしているから、一定の理解があると思っっている。情報分析しながら、対策会議、災害対策に万全を期していく。避難の説明ができるように啓発し自主避難の対応している状況である。それぞれが一番適した避難所を想定し対応していくことになる。高齢者に対応するマニュアルづくりを今進めており10月ぐらいに出来る上がると思っっている。



全町の避難所マップ



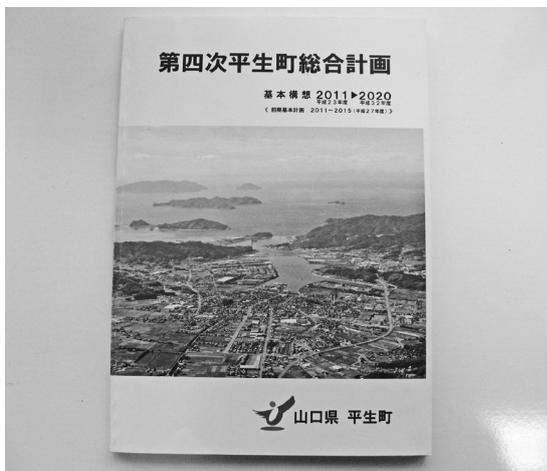
河内山宏充 議員

質 総合計画の役割の見直しへの対応は

答 最上位の計画として策定されるべきである

質

総合計画については、法的義務づけの廃止がされ、基本構想を策定するか否かは、市町村の判断に委ねられ、議会の議決の有無を含め、基本構想を策定する際の手続きは市町村が決めることとなっている。



第四次平生町総合計画

広報誌で『第5次総合計画』は向こう十年間の町政運営の基本となる最上位の計画との発言は、無責任ではないか。どう対応されてきたのか。

現在法的な義務づけがなくなつたが、総合計画は、最上位の計画である。未来戦略や行革大綱を含めて、総合計画との整合性を求めて計画・発表している状態であり、最上位の計画であることは間違いない。

新しい次の総合計画のあり方については、次の町長が、その判断を示されると思う。

答 町長

質 事務の誤りの事後処理の公表基準は

答 ケース・バイ・ケースで判断している

質

事務の誤りの事後処理について尋ねる。もう1点管理について尋ねる。公表するしないという基準（定められたもの）があるのかわいのか、なければその判断はどういう手順で対応されることになるのか、尋ねる。

とくに平生町参加と協働のまちづくり条例で謳う「住民との信頼関係を築く」行動はとられているか。

答 町長

今回の事業については、全対象者に対して説明責任をしっかりと果たすことを優先し、迅速な事務処理に全力を尽くすように指示をした。



答弁する町長



細田留美子 議員

質 子どもの声を町政に！

答 引続き検討すべき課題

質

子どもにやさしいまちを目指して子どもの意見を政策にとり入れている自治体がある。国連の子どもの権利条約にもあるが、子どもは地域社会を構成するりっぱな一員である。子どもの意見を引き出し実現していくことで、子ども達は主体的に動き古里に愛着を持つことができる。子どもが意見を表明でき、まちづくりに参画できる制度はどうか。

答

町長

子供達の意見については小、中を対象に少年の主張のコンクールがある。町では健全育成大会の時にいろんな意見や考え方、社会の出来事を含めて意見発表をしてもらっており、これらは大変参考になっていく。しかしそれらを活かす受け皿が用意できておらず、どういう形で子供達の意見を聴くのかは引続き検討すべき課題だと受け止めている。



小学生が発表している平生町青少年健全育成推進大会

人権擁護委員の推薦に同意しました。



人権擁護委員
中丸 和則氏

人権擁護委員の任期満了に伴い佐賀地区の中丸和則氏を再任する諮問が出され全会一致で承認しました。



人権擁護委員
木谷 巖氏

人権擁護委員の任期満了に伴い曾根地区の木谷巖氏を再任する諮問が出され全会一致で承認しました。

監査委員の選任、教育委員会委員の任命に同意しました。



平生町監査委員
山田 吉明氏

平生町監査委員の中嶋一成氏の任期満了に伴い、後任に山田吉明氏を選任することに同意しました。



平生町教育委員会委員
西村 千秋氏

平生町教育委員会委員の任期満了に伴い西村千秋氏を引続き任命することに同意しました。

議会研修報告

柳井地区広域市町 議会議員研修会

平成30年度柳井地区広域市町議会研修会が、7月23日柳井市ベルゼにおいて、講師に清水国明氏を招き、「防災について」を主題に研修をしました。

災害時におけるトレーラーハウスの活用について報告を受けました。



山口県議会広域 議会実務研修会

平成30年度山口県議会議長会・議会実務研修会が、8月28日田布施町商工会館にて、講師に同志社大学大学院・教授の新川達郎氏を招き「計画・予算への議会の取組み」政策過程への関与を深める議会」について研修をしました。



山口県 町自治研修会

平成30年度山口県町自治研修会が、9月27日山口市のセントコアにて、講師にフジテレビ解説委員の平井文夫氏を招き「日本の抱える課題と政権の行方」を講演テーマとして今後の「政治経済」「今後の政局・政治展望を読む」を研修しました。



平成30年12月定例会会期（予定）

12月17日(月)	9時	本会議
12月18日(火)	9時	本会議
12月20日(木)	9時	産業文教常任委員会
12月21日(金)	9時	総務厚生常任委員会
12月25日(火)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議

議会の動き

30年 6月18日 27日	第2回定例会
18日	議会広報広聴 調査特別委員会 議会全員協議会 新庁舎整備調査 特別委員会
27日	調査特別委員会 議会全員協議会 新庁舎整備調査 特別委員会
30日	議会運営委員会 議会全員協議会
7月2日 4日	総務厚生常任 委員会行政視察 産業文教常任 委員会行政視察
11日	議会広報広聴 調査特別委員会
18日	議会広報広聴
8月23日	調査特別委員会 総務厚生常任 委員会
27日	産業文教常任 委員会
28日	議会運営委員会
30日	議会全員協議会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・字数 400字以内
- ・提出先 平生町役場 議会事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

山口ゆめ花博に10月1日平生町消費者問題協議会がバス2台90名で見学され私も参加した。準備として観光バスは一年前、入場券は8ヶ月前、あいお荘での昼食は3ヶ月前、帰途に寄った潮彩市場の連絡等計画どおりと聞く。

楽しい一日は生きるエネルギーとなった。人が動くとき、買い物でお金も動き周辺地域も経済効果がたように感じた。

四国と大島88ヶ所靈場に私は何度も巡拝させていただき、出会いや、みしらぬ地域の方のお茶や甘酒等のお接待に暖かさを感じる。

大島郡での「幼児無事発見」は明るいニュースでスーパードラマも話題になった。指名手配中の逃亡犯が大島の道の駅で9日間滞在のニュースに、見返りを求めずふれあうお接待の心を四国や大島郡の人に感じる。

中本 敦子